

Photo&Test=Yasauki Kagii
Special Thanks=ADAARAN Prestige VADOO MALDIVES , World Tour Planners
Design=PanariDesign

アダーラン プレステージ ヴァドゥ モルディブ

青く美しいラグーンに
浮かぶ新調された水
上バンガロー

Adaaran Prestige Vadoo

進化するダイバーズ パラダイス
ヴァドゥ

ダイバーズアイランドとして

多くの日本人ダイバーに親しまれていたヴァドゥアイランド。

2009年3月に、5スターのADAARAN Prestige VADOO MALDIVES (アダーラン プレステージ ヴァドゥ モルディブ) となり、

ラグジュアリーなブティックリゾートとして新しく生まれ変わった。

スタイリッシュなリゾートライフで癒されながら、

インターナショナルになったダイビングパラダイスで最高の海を楽しむ。

Maldives



水上コテージしかない 理想島。

ヴァドゥ島を囲む環礁

ヴァドゥ島に到着して まず驚いたのが島の大きさだった。

一周徒歩で5分くらいだろうか、想像以上に小さな島だった。モルディブのリゾート島は大小様々だが、個人的にはこじんまりとしたプライベート感のある島が好きだ。そのほうが、なぜかモルディブらしいような気がするからだ。島にあるのは、レセプション、レストラン、お土産屋さん、ダイビングセンター、プールくらいで、他になにもない。全客室はバンガローで、環礁のように弧を描く棧橋沿いに並んでいる。

滞在初日に、棧橋を歩いていると沖でイルカが何度もジャンプを繰り返していた。そう言えば、この付近のチャンネルにはハシナギイルカが住み着いている、と聞いたことがある。

「イルカが見える島・ヴァドゥアイランド」などと、この取材記事のタイトルを思い浮かべてみたが、これはきっと大袈裟なので即却下した。それでも、それからの数日間、私は、島から、またダイビングの往復で毎日イルカを見る幸運に恵まれた。

- 01/水上バンガローへの棧橋は緩やかな弧を描く
- 02/島周辺のイルカたち
- 03/水上バーから望む景色
- 04/大きな屋外プールも完備
- 05/島の玄関口



進化するダイバーズ パラダイス *Adagran Prestige*
Vadoo Maldives アダーラン プレステイジ
ヴァドゥ モルディブ

Web-lue 2009. Spring

プライベートバンガローから見える景色



極上の水上コテージで過ごす贅沢な時間。



美しくデザインされた
客室内

- 01/日本の美を表現した水上茶室
- 02/朝日に染まる水上バンガロー
- 03/広々としたベッド&リビングルーム
- 04/屋外のジャグジーバス&シャワールーム



01

コンテポラリーデザインの 広いリビング&ベッドルームは心地酔い空間

海に向って開かれた大きな窓からは燦々と陽が入り、室内は明るい雰囲気にもまれる。海面に反射した光の集合体が室内の壁や天井に映る。そのキラキラとしたクリスタルの造形が、まるで時計のようにリゾートタイムを刻んでいるよう。海が一望できるプライベートバンガローには、プール、ウォーターブルーベッド、テーブル&チェアが備えてあり、海渡る風が全身を優しく包む。リゾートでしか感じるることのできない至福の瞬間。

リビング&ベッドの裏側には、こちらにも広いバスルームがある。印象的なオレンジ色のソファを中心に、大きなジャグジーバスやシャワー、トイレ、また大型液晶TVも備えてある。床下の一部はガラス張りで見えることもでき、とても涼しげだ。

空間の使い方や設備はとても贅沢で、非日常的である。そのために、よりフレッシュした気持ちでリゾートライフを満喫することができるのかしれない。海に浮かぶバンガローで朝日や夕暮れの自然の恵みを感じつつ、豊かな休日を過ごすことができる。

バンガローの数は50棟。そのうち6棟は、畳部屋のあるジャパニーズスタイル。そして、水上茶室&博物館も用意されている。多くの欧米からのゲストにジャパニーズスタイルが支持されている。



02

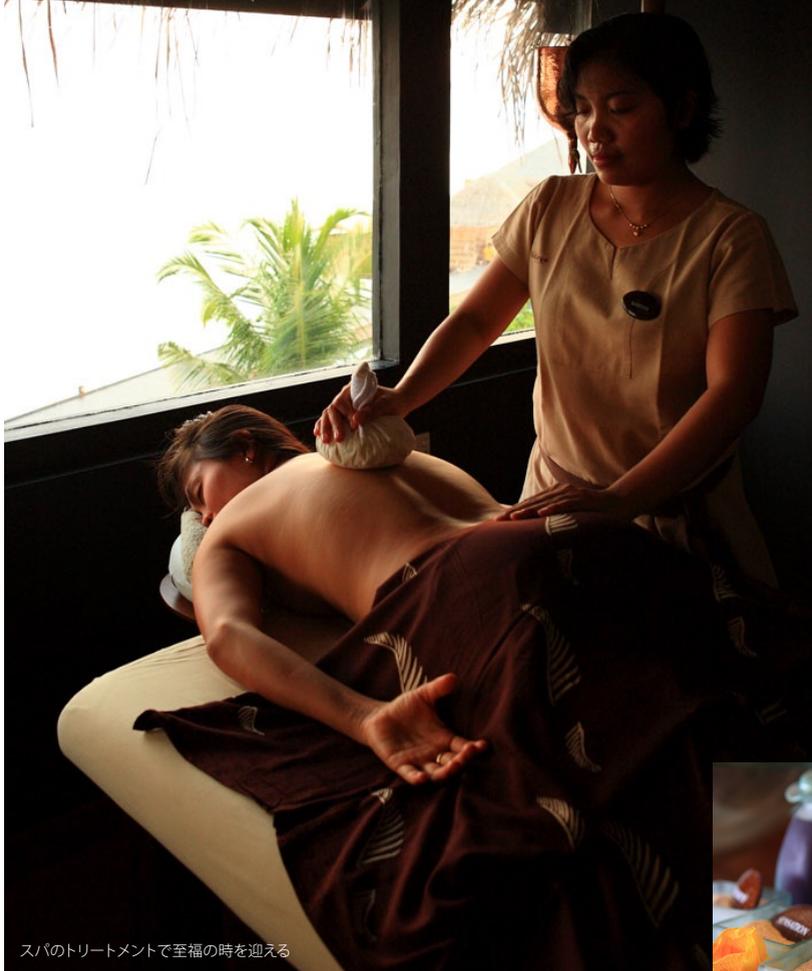


03



04

5スターリゾートの美味しい実力&スパ。



スパのトリートメントで至福の時を迎える



01

島内にある2つのレストランと スパの満足度

外光が店内を照らす明るいメインレストランは、基本的にセットメニュー & アラカルトで、インターナショナルな料理を楽しむことができる。上品な肉料理から地元で採れた魚料理、または、パスタやインド、スリランカカレー、モルディビアン料理までメニューは多岐に渡る。取材中にいくつかの料理を頂いたが、スープ、サラダなどの前菜、メイン料理、デザートに至るまで、本当に美味しく、心から食を楽しむことができた。また日本食レストランもあり、日本人シェフの監修のもと、美味しい和食も堪能することができる。

そしてココナッツ スパでは、各種のトリートメント & マッサージメニューが用意されている。バリ式伝統マッサージ、温石マッサージ、アーユルベエダなどがある。また2～5日間かけて行うスペシャルパッケージプランや新感覚のチョコレートパッケージなども用意されている。



03



04

- 01/都会的なデザインのメインレストラン
- 02/抜群の味を誇るメインディッシュ
- 03/シェフのセンスが感じられるプレート
- 04/スパは視覚的にも癒してくれる

カッコ良いユニフォームに身を包んだバトラーたち



*Adagran Prestige
Vadoo Maldives*

進化するダイブ Paradise
アダーラン プレステイジ
ヴァドゥ モルディブ



宿泊しているバンガローでプライベートランチを用意してもらっ

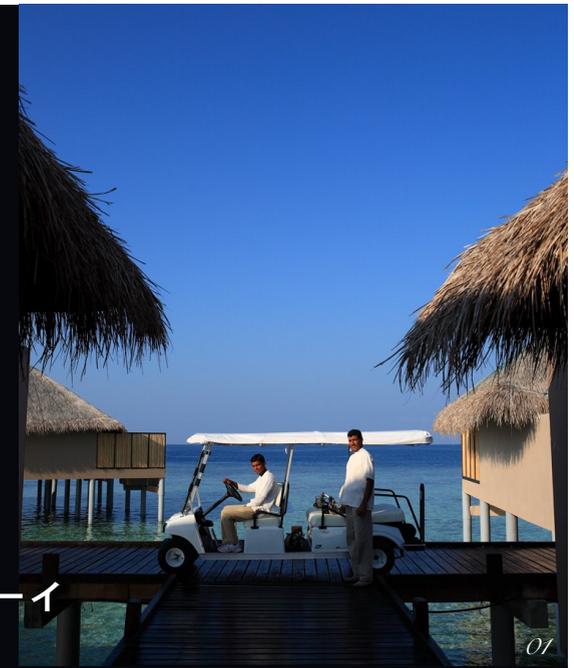
- 01/カートでお迎えに来てくれたバトラー
- 02/ウェルカムドリンクからこの笑顔で迎えてくれる
- 03/お気に入りの朝食、プレーンヨーグルトとフルーツ

No ウェイター、No ルームボーイ Only バトラー。

バトラーの存在が滞在を快適に

バトラーと呼ばれるお手伝いさんが、滞在中、ゲストのケアをしてくれる。

彼らの仕事は、チェックインから始まり、島の案内、小型バギーの運転、ルームサービスの手配、サンセットディナーの用意などなど。ゲストの様々なリクエストにも対応してくれる。日本人はリクエストすることに躊躇するかもしれないが、ここは思い切って色々とお願ひしてみよう！ その代わり、チップを弾んであげよう！ 島には、ウェイターもルームボーイもない。全てゲストのお世話には担当になったバトラーが行ってくれる。



01



02



03

楽園の姿を俯瞰する。

- 01 … ハネムーンバンガロー
- 02 … 水上茶室 & 博物館
- 03 … バンガロー
- 04 … ジャパニーズバンガロー
- 05 … 水上 Bar
- 06 … メインレストラン
日本食レストラン
ココナッツスパ
- 07 … レセプション
- 08 … プール
- 09 … ダイビングセンター
- 10 … ハウスリーフ

進化するダイバーズパラダイス *Adagran Prestige* アダグラン プレステイジ
Vadoo Maldives ヴァドゥ モルディブ

Web-lue 2009. Spring



01

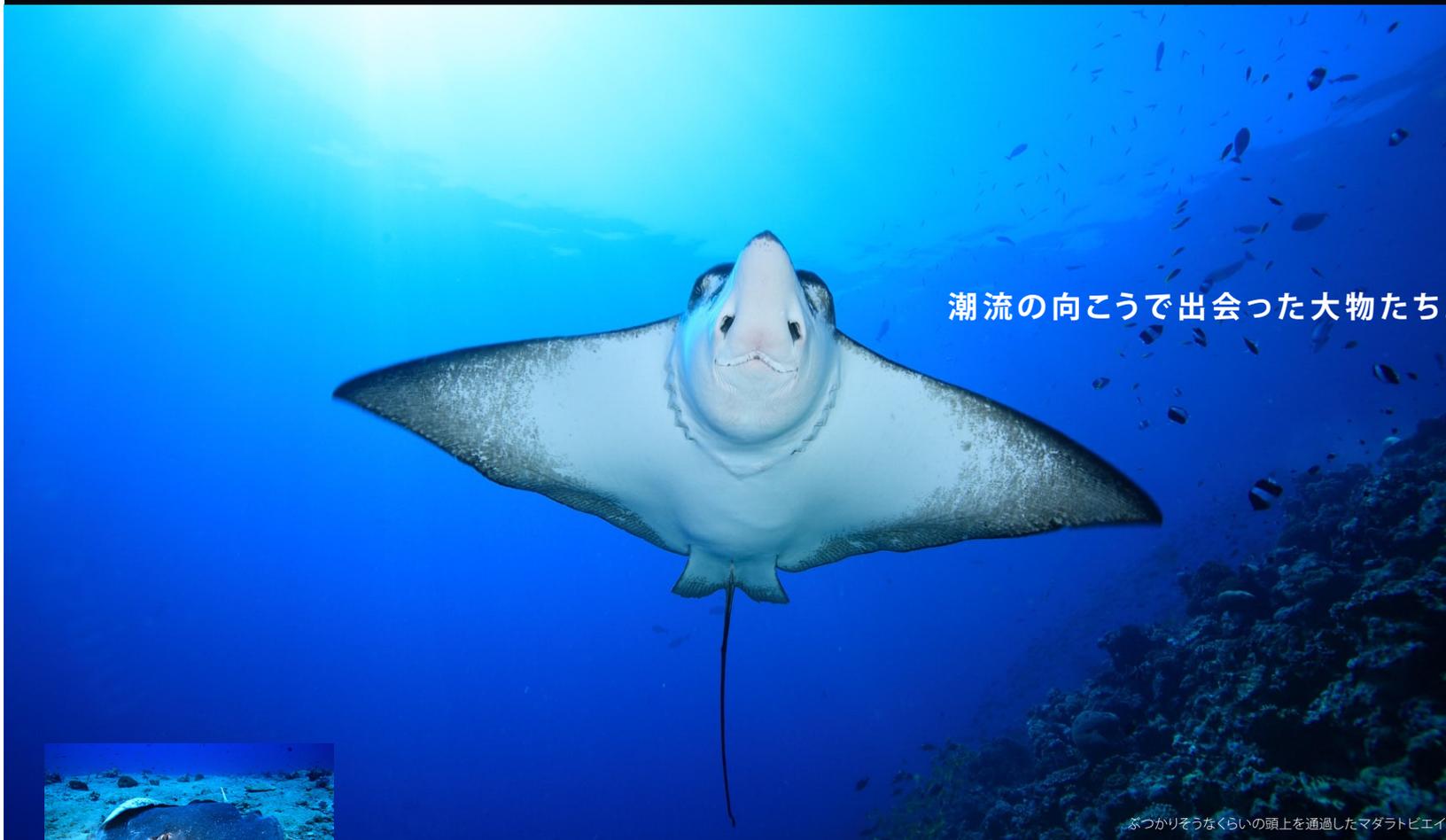


02



03

- 01/ロウニンアジとバラクーダの群れ
- 02/優雅なマダラトビエイの編隊
- 03/のんびり屋のタイマイも多い
- 04/巨大なエイもよく見られる



潮流の向こうで出会った大物たち。

モルディブの典型的な大物ダイブ エンブドゥ エクスプレス

南マーレ環礁でも大物ポイントして有名なエンブドゥ エクスプレスに潜りこんだ。潮の流れがちょうど、緩やかに外洋から環礁内に流れ込むインゴーイングだったので、ベストタイミングでエントリーすることができた。ナポレオンやギンガメアジの群れを眺めながら、コーナーを過ぎ、チャンネルを横断すると、単体のロウニンアジとバラクーダの群れに遭遇。そしてそのまま南へ流していくと、ムレハタタテダイの大きな群れが現れてくる。その辺りになると、メジロザメが現れ、ネムリブカの数も多くなる。コンピューターの指示もあり、もう水深を上げて移動しようと思ったら、マダラトビエイの群れに遭遇した。その優雅な集団での泳ぎを眺めながら、後ろ髪を引かれる思いでチャンネルの中のティラへ進んで行った。モルディブでの大物ダイブの典型的な潜水スタイルである。平均水深が深くなるので、初級者には少し難しいが、是非、堪能して欲しいポイント&生物たちである。その他に、5月下旬～11月までの雨季は、近くのランカンリーフにマンタがクリーニングのために集まってくる。首都マーレにも近く、きっとモルディブで最も愛されたマンタポイントだと思うが、毎回期待通りに現れてくれる。ヴァドゥ島周辺の大物ポイントを是非、チェックして欲しい。

ぶつかりそうなくらいの頭上を通過したマダラトビエイ



04

進化するダイバーズ パラダイス *Adagran Prestige* アダーラン プレステイジ
Vadoo Maldives ヴァドゥ モルディブ

Web-lue 2009. Spring



Information Link
<http://maldives.cx/fee/fee002.html>

← 関連情報HPへ

箱庭ダイブができる ヴァドゥハウスリーフ。



01



奇妙だが可愛いヤマアラシエイ

02



03

ヴァドゥのハウスリーフに潜りこんだ

潜水できる範囲は、ダイビングセンターの左側からエントリーして、少し湾になったリーフ奥までだった。思っていたよりも狭い範囲であることに少し驚いたが、きっと面白いはずだという確信があった。これまでに、たくさんの日本人ダイバーが支持し、皆が愛着を持って潜水していたハウスリーフ。私は少し敬謙の念を持ち、カメラを2台抱えてエントリーした。

ガイドのエレムに付いて水深を下げ、まずガレ場に着底した。オーロラゴビを眺めていると、エレムが、こっちを振り返り、人差し指を口元に持っていき「牙」のジェスチャーをした。「ドラキュラゴビだ！」まずは、あっさりと人気のハゼを披露してもらった。水深は26m、まずまずの深さだ。そして心地よい潮の流れに押されて進んでいくと、またエレムがサインを出した。「あれ！ いらないよな？」ってジェスチャーを出す。「ん？」と思って指先を眺めると、タイマイが休んでいた。「ハウスリーフにカメラがいる！ 良い情報やん！」と思いながら撮影。そして奥のパウダー状の砂地に行き着くと、パッチリーフが点在する。幾重にも魚種が絡まり、魚の街といった感じ。今度はヤマアラシエイを教えよう。大きなエイだが、正面から見るとなかなか可愛い。そして、ゆっくり深度を上げながら、ガイドロープ沿いに戻っていく。途中クリーニングステーションで掃除をされる魚たちに会う。きっと何年も変わらない普通の営みなのだろうなと思い、気持ち良さそうに漂うおさかなたちをいつもよりも思いを込めて撮影した。

01/恍惚のパウダーブルーサージョンフィッシュ

02/人気もののドラキュラシュリンゴゴビ

03/岩肌もカラフルでフォトジェニック

04/エキジツするガイドのエレム

05/クリーニングシーンは撮影のチャンスでもある

06/気配を消していた？ タイマイ

07/マッコスカーズラスも簡単に見つかる



04



05



06



07

イルカの声が聞こえる島で。



水面下に映るイルカの群れ、気持ち良さそうに泳ぐ

素敵な夕焼けが島の雰囲気を変える



*Adagran Prestige
Vadoo Maldives*

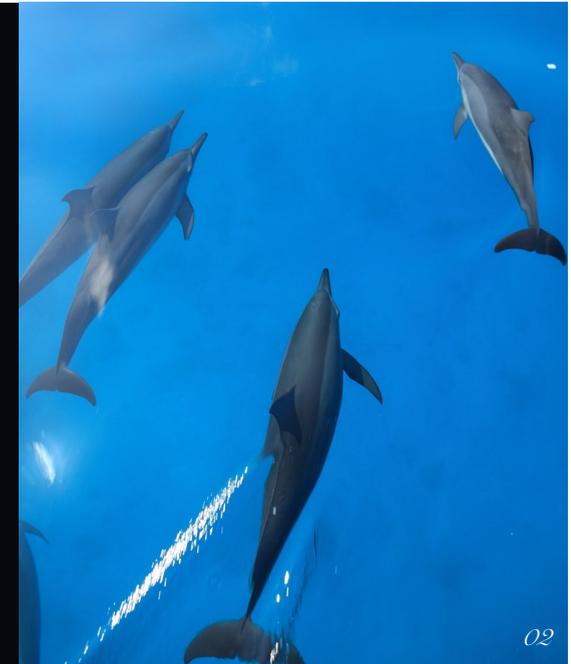
進化するダイバーズパラダイス
アダーラン プレステイジ
ヴァドゥ モルディブ

ハウスリーフでダイビングをしているとき 何度もイルカの声聞いた

わずかに聞こえる程度で、彼らがそんなに近くにいてくれるとは思えないけれど、海の中で自由な彼らの存在を感じることができる。それだけでも嬉しかった。エンブドゥエクスプレスでのダイビングの帰りにたくさんイルカが水面を泳いでいた。

ゆっくりダイビングドローニで近づくと、ドローニの舳先で少しだけ遊んでくれた。水面下の彼らは、まるで空を飛んでいるかのように美しかった。ちょっと欲張って、スノーケリングの準備をして水中に滑り込んだが、そこにもう彼らの姿はなく、遠くでジャンプする様子が水面から見えた。まったくの置き去り状態だった。

ある朝、パトラーのラムに「この島からイルカが見えるの知ってる?」、と聞くと、「いつも見えるよ」と応えた。「いつもじゃないよね?」と聞くと、「そうだね、いつもじゃないけど、朝と夕方に島からでも良く見るよ」と教えてくれた。みんながイルカのことをちゃんと知っていることでまた嬉しくなった。バンガローの奥にオレンジ色の大きな夕陽が沈んでいく。明日もイルカに会えまするように。



02



お世話になったダイビングセンター

Dive Point

モルディブ内4島の系列店をもつダイビングセンター。ドイツ人女性ベスリーダーのSilja (シリア)さんとトルコ人インストラクターのEmre (エムレ)さん、そして日本人インストラクターを含む、3~5名のガイドが常駐する。

ポートポイントの総数は26箇所、ダイビングドローニで所要時間が5分のポイントから1DAY TRIPまでの広範囲をカバーしている。ポートスケジュールは、午前1本&午後1本。または、午前2本&午後1本の場合もある。ハウスリーフはアドバンスライセンス以上の経験豊富なダイバーがバディ単位で潜水することができる。セーフティフロートの無料貸し出し、グローブ着用禁止、ナイトロックス完備など安全面も含め、しっかり管理されているダイビングセンターでもある。



01

01/ダイビング移動の途中でもイルカに会える

02/水面に描かれた連はイルカからのメッセージのよう